

令和7年度 第1回碧南市環境審議会 会議録

日 時 令和7年10月15日（水）午後2時00分～午後2時35分

場 所 碧南市役所 7階 議員大会議室

出席者 長田 和徳、長田 和久、岡本 耕也、鶴田 光久、長田 一希、黒田 昌司、
杉浦 龍一、片伯部 裕樹、神谷 昌明、太田 一馬、永谷 洋二、神谷 葉子、
竹原 幸子、西野 正洋、加藤 伸、鈴木 君子、増田 元保

欠席者 角谷 信二、磯貝 政男、高山 芽衣 （20名中17名出席）

事務局 杉浦 英樹、中川 知之、澤田 貫、鈴木 章宏、藤井 知恵

傍聴者 なし

1 あいさつ

(1) 市長あいさつ

(2) 会長あいさつ

2 議 題

(1) 令和6年度における環境の状況及び第3次碧南市環境基本計画の進捗状況について
(報告)

【環境の状況に関する報告書ダイジェスト版】

1 大気の状態

二酸化窒素（ NO_2 ）、浮遊粒子状物質（SPM）、光化学オキシダント、大気中ダイオキシン類については過去からの推移を含め、環境基準に適合している。

2 水質の状態

「健康項目」について、全ての地点で環境基準を満たしている。「生活項目」については、油ヶ淵（湖沼）のCODに関して環境基準に適合していない。

3 騒音の状態

市内8地点を24時間測定する環境騒音及び、市内の主な幹線道路を概ね5年間で市内10地点を測定する自動車騒音について、ともに過去からの推移を含め環境基準を満たしている。

4 公害苦情件数

令和6年度で48件の苦情があった。最も多かったのは大気汚染に関するもので、その中でも、野焼きによるものがほとんどである。

5 碧南市地球温暖化対策実行計画（区域施策）

(1) 温室効果ガス排出量の削減目標

令和4年度に温室効果ガスの削減目標を国の目標に準じて、平成25年度を基準年度として、令和12年度に碧南市内のCO₂排出量を46パーセント削減することを目標と定めた。

(2) 温室効果ガス排出量の現況

令和4年度の碧南市温室効果ガス排出量は740千t-CO₂で、基準年度である平成25年度対比29.5%の減少となった。

6 碧南市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）

碧南市役所の令和6年度の温室効果ガス排出量は11,857t-CO₂で、基準年度である平成25年度対比12.2%の減少となった。削減に向けた具体的な取組として、照明設備のLED化や庁用車の次世代自動車への転換を今後も進めていく。

質疑応答

報告内容について、公害及び環境保全に関しては特に質疑はなし。油ヶ淵の水質について発言があった。

委員 A： ほとんどの環境基準は達成されているが、油ヶ淵は環境基準の達成が難しい。

事務局： 油ヶ淵の状況として確かに環境基準は達成していないが、ワースト2位だった水質が、2023年ではワースト21位となっている。近隣市を含め皆様の地道な活動によって水質は改善してきている。引き続き努力していく。